

「第36回全国郵趣大会 in 島原」に参加して

松井恒雄

9月8日(土)・9日(日)島原市のホテル南風楼で開催されました、「第36回全国郵趣大会 in 島原」に参加しましたので報告いたします。

8日朝大牟田市三池港から高速船で島原に行きました。会場の南風楼に11時過ぎに到着しました。

8日(土)の12時頃より島原郵便局の臨時出張所が開設されましたので、記念小型印と風景印の押印を依頼しました。

13時30分から開会式・顕彰事業セレモニー終了後、記念講演「切手に学ぶ世界の知識—全世界ゼネラル収集—」の講演内容で吉田敬氏が約1時間講演されました。

記念写真を撮影後、15時45分から分科会が「チェ・ゲバラとその時代:切手で読み解く」(講師内藤陽介氏)と「戦後記念切手のさまざまな楽しみ方」(講師永吉秀夫氏)、17時10分から「テーマチック収集の要点」(講師大沼幸雄)と「猫に小判 郵趣エッセイでのサブ蒐集のすすめ」(講師長野幸洋氏)が4ヶ所で開催されました。私は同時に開催されていた切手展の警備を担当していましたので参加出来ませんでした。

18時から記念パーティが開催され、ワンリーフ展人気投票結果発表、特別オークションが行われ大変賑わい2時過ぎに解散しました。

翌日の9日9時から臨時出張所・切手展・テーブルバザールが行われていましたが、私は支部の例会があるため8時過ぎにホテルを出て例会会場の小郡市交流センターに向いました。

